

RV-3149-C3

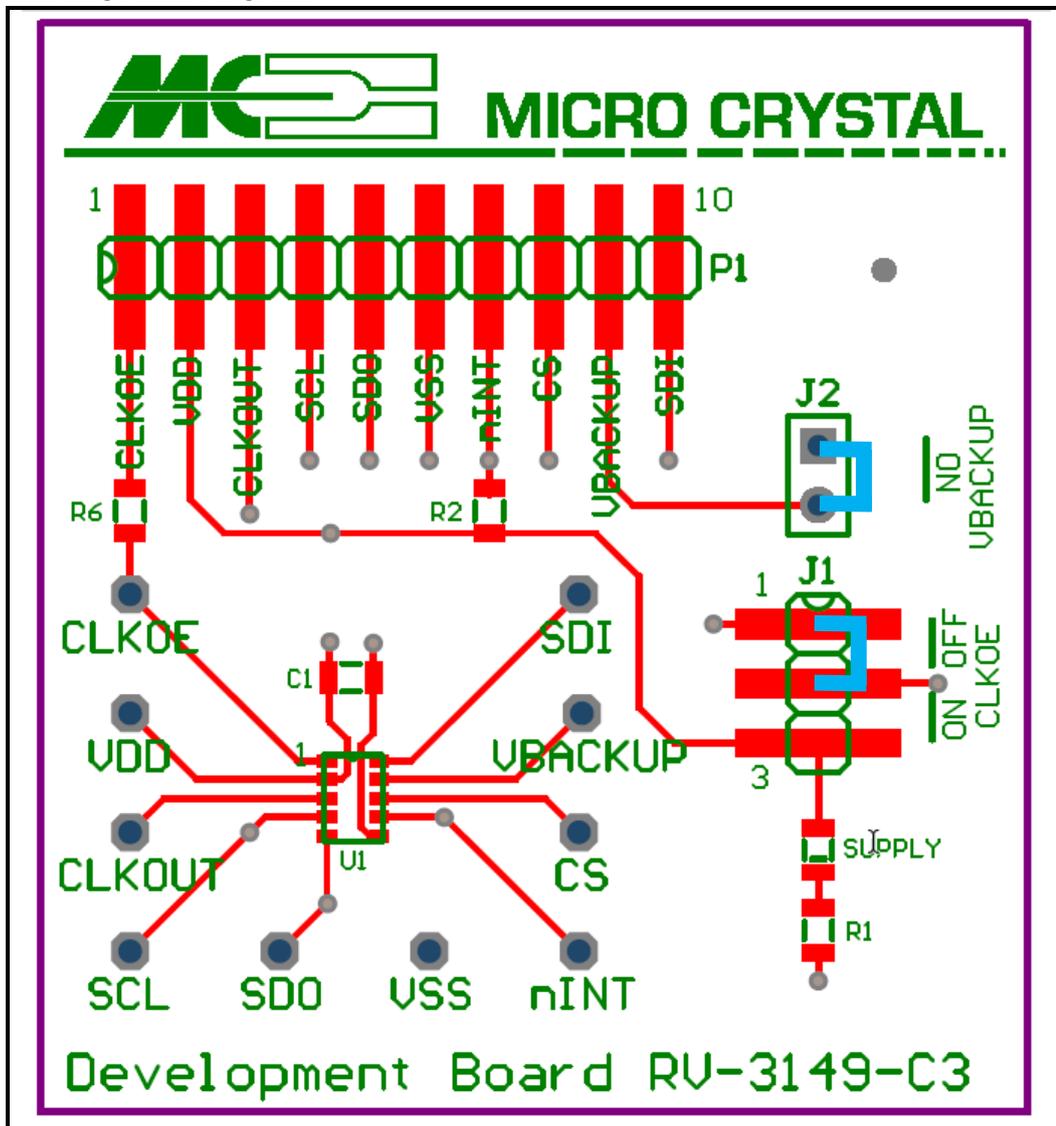
高SPIインターフェース・高精度温度補償リアルタイムクロックモジュール RV-3124-C3 を
 はんだ実装した評価ボードです。

RTCモジュールの各端子へはヘッダピンからそれぞれ接続できます。

以下の受動部品も基板へ実装されています。

C1	10 nF	V_{DD} - V_{SS} 間のバイパスコンデンサ
R1	330 Ω	LED の電流制限抵抗
LED1	緑色	通電表示の LED (消費電流にご注意下さい)
R2	10 k Ω	INT- V_{DD} 間のプルアップ抵抗
R6	10 k Ω	CLKOE-GND間のプルダウン抵抗 (V_{DD} -CLKOE接続時の短絡保護用)

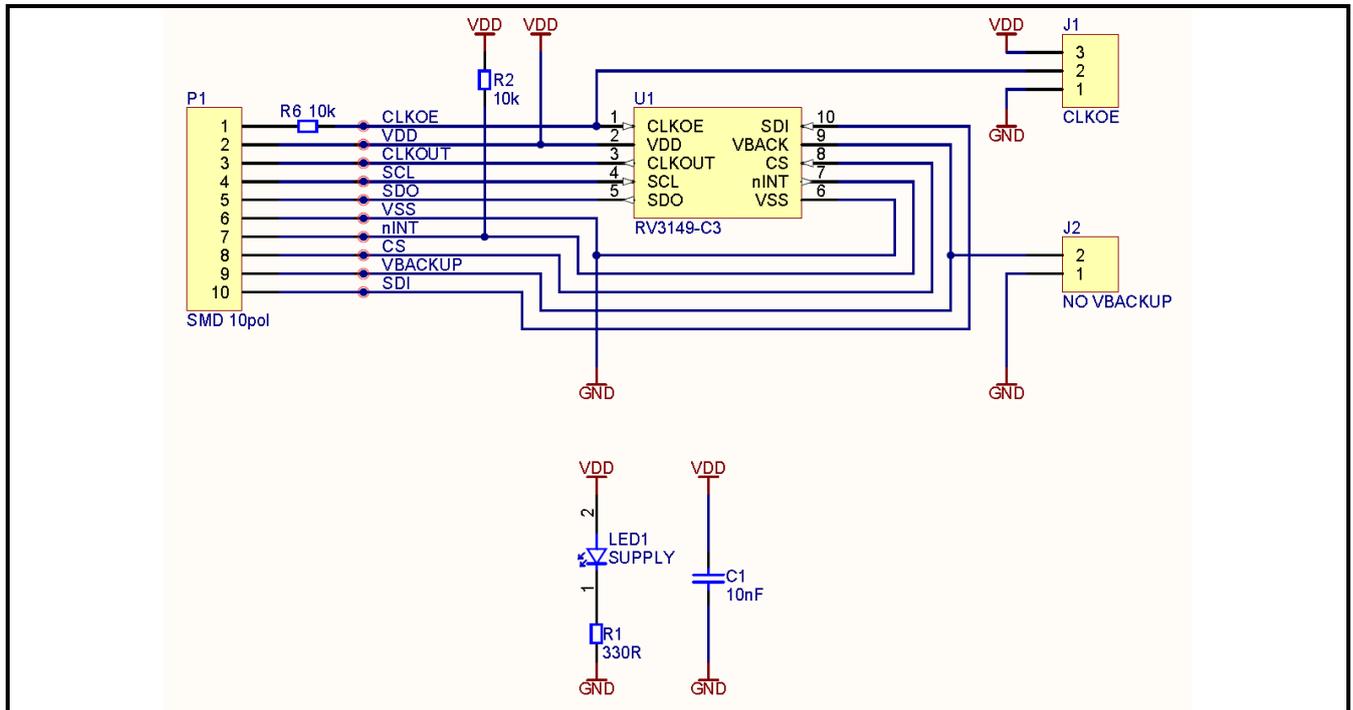
DEVELOPMENT BOARD



ジャンパ接続

- J2 (Vbackup端子)
- V_{BACKUP} = GND接続 (未使用時)
- J1 (CLKOE端子)
- CLKOE = LOW
- CLKOE = HIGH

回路接続図



RV-3149-C3の端子レイアウト

# 1	CLKOE	# 10	SDI
# 2	V _{DD}	# 9	V _{BACKUP}
# 3	CLKOUT	# 8	CE
# 4	SCL	# 7	$\overline{\text{INT}}$
# 5	SDO	# 6	V _{SS}

(端子機能詳細 →次頁へ)

端子機能詳細

記号	ピン#	端子詳細
CLKOE	1	クロック出力の Enable/Disable端子です。CLKOE=Highにてクロック出力されます。CLKOUT出力を出力させない場合には GNDに接続します。
Vdd	2	プラス電源供給端子です。 GNDピン(#6)との間のなるべく近いところに 0.01 μ Fのパスコンを入れて下さい。
CLKOUT	3	クロック出力または割り込み信号出力を選択可能です。 (コントロール_1 レジスタ; 第7ビット) クロック出力の場合はプッシュ・プル出力となり、割り込み信号出力の場合はオープンドレイン出力となり、外部のプルアップ抵抗が必要になります。
SCL	4	シリアルクロック入力端子です。 CEピンが非動作の間はフロートになります。
SDO	5	シリアルデータ出力端子です。プッシュプル出力、非ドライブ時はハイインピーダンスになります。3wire の場合は SDI端子(#9)と接続して使用します。
Vss	6	GND端子です。
INT	7	割り込み信号出力端子です。 オープンドレイン出力、信号発生時は Lowレベル になります。
CE	8	チップイネーブル入力ピンです。アクティブ = "High" です。
V _{BACKUP}	9	バックアップ電源用の端子です。使用しない場合は GNDに接続します。
SDI	10	シリアルデータ出力端子です。 CEピンが非動作の間はフロートになります。

(機能詳細はウェブサイトのアプリケーションマニュアルをご参照ください)